

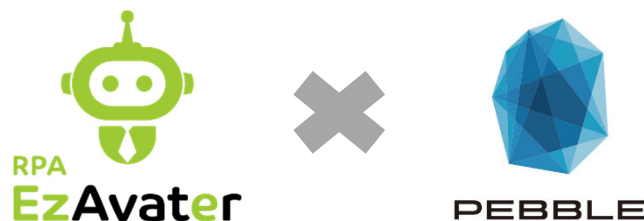
2021 年 5 月 19 日

株式会社テリロジー

(JASDAQ スタンダード 証券コード：3356)

**テリロジー、ペブルコーポレーションと自社開発RPAツール
「EzAvater（イージーアバター）」の販売代理店契約を締結
～画像認識技術を活用！究極的に簡単なRPAツール～**

株式会社テリロジー（以下、テリロジー 本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿部 昭彦）は、このたび、ペブルコーポレーション株式会社（以下、ペブルコーポレーション 本社：東京都江東区、代表取締役：藤方 裕伸）と自社開発の国産 RPA（Robotic Process Automation）ツール「EzAvater（イージーアバター）」（<https://www.ezavater.com/>）の販売代理店契約を締結しました。



【業務提携の背景】

ペブルコーポレーションは、デジタルマーケティングからサーバー・ネットワークなどのインフラに至るまで、幅広い分野に対して、AI / RPA / IPA などの最新技術を用いた DX の支援を主な事業としており、RPA のラインナップ拡充を目的に「EzAvater」の提供を開始しました。

企業での RPA ツールの導入が進む中、自動化対象業務の洗い出しや社内利用の推進といった課題が浮き彫りとなり、自動化対象業務のコンサルティングや導入支援を必要とする企業が増加しています。ペブルコーポレーションのこれまで培ったシステムに対する知見やコンサルティングのノウハウと、“誰でも” “簡単に” 自動化シナリオの作成ができる「EzAvater」のテクノロジーを組み合わせることによって、これまで RPA による業務改善に取り組めなかった企業が抱える課題解決を実現し、お客様の DX の実現に貢献します。

また、ペブルコーポレーションが推進している DX ソリューションの中でも人気のある AI / OCR と非常に相性の良い「EzAvater」を導入することにより、圧倒的なスピードで紙からデジタルに進化させ、企業のニーズに近いサービスを提供いたします。

【EzAvater の概要】

EzAvater はテリロジーが開発した国産 RPA(Robotic Process Automation)ツールです。

最大の特徴は、“カンタン”に定型業務自動化ロボットを作成できることです。

自社で定型業務自動化ロボットを作り、運用したいという方のために開発された RPA 利用者が抱えている課題を解決する、ユーザ目線の RPA ツールです。

URL : <https://www.ezavater.com/>

究極的にカンタン	止まりづらい	運用しやすい	エラーに強い
誰にでも自動化シナリオが作成できる 	操作対象のシステムのスピードに合わせてロボットが動作するため、停止しづらい 	ロボット停止メール通知機能が標準装備されており、ロボットが止まった事に気づくことができます 	エラー停止時の例外処理も可能 

【ペブルコーポレーション株式会社について】

事業概要 : GPX-N (Global Product Exchange Network)、グローバル EC 支援、AI (音声認識、画像認識技術) と DX、既存テクノロジーの融合による高付加価値技術、および IoT・5G 製品の開発

設立 : 2018 年 12 月 7 日

所在地 : 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル 8 階 A バンク

代表者 : 代表取締役社長 藤方 裕伸

URL : <https://pebblecorp.co.jp/>

【株式会社テリロジーについて】

株式会社テリロジーは、1989 年に会社設立、エンタープライズ LAN/WAN、ブロードバンド・アクセス、セキュリティ、ネットワーク管理の 4 つのソリューションを中核に、市場および顧客ニーズに対応したハードウェアからソフトウェアまでの幅広い製品を取り扱うテクノロジーバリュークリエイターです。近年は、製品の自社開発やクラウドサービスの提供も行っております。

顧客は大企業や通信事業者を中心に 300 社を超え、ネットワーク関連ビジネスでは豊富な経験と実績を上げています。 (<https://www.terilogy.com/>)

「EzAvater」は、株式会社テリロジーの登録商標です。

その他、本リリースに記載されている社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社テリロジー

グループ事業推進統括部 オートメーションテクノロジー事業推進部

TEL : 03-3237-3291、FAX : 03-3237-3293

e-mail : ezavater@terilogy.com